



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒

〈重点目標〉目標に向かってチャレンジし、共に全力で取り組む生徒 **～夢の実現～**

原町三中だより

令和2年4月6日(月)

第1号

発行責任者

校長 鈴木 太

電話 22-3802

令和2年度 教育活動の再開にあたって

新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、3月4日より臨時休校の措置をとり、生徒の健康・安全の確保に万全を期しておりましたが、本日4月6日より、令和2年度の教育活動を再開いたしました。しかしながら、南相馬市内からの感染者発生など、予断を許さない状況が続いております。南相馬市教育委員会と連携しながら、感染防止対策に万全を期してまいりたいと考えておりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いたします。



※本校の対応につきましては、本日配付しました「教育活動の再開について」をご覧ください。

ピンチをチャンスに変える前向きな発想で

(入学式 校長式辞より抜粋)

・・・中学校に一日も早く慣れ、充実した生活を送るために、三年間の中で身につけてほしいことを二つお話しします。

一つ目は、夢や目標を実現するために、自ら具体的な目標を立て、自分に厳しく実行することです。中学校は 小学校と違い、三年後には自分の道を進まなければなりません。将来を見据えながら、学習、部活動、様々な学校行事を通して、着実に自分を鍛えていく必要があるのです。

また、皆さんは中学校の三年間に 心も体も、大きく成長します。卒業の頃には見違えるようになるでしょう。難しいこと辛いことに自らあえて挑む気持ちで、学習や部活動に取り組み、強い体と心をつくってください。自分の限界を広げるよう、自分を鍛え、磨き上げてください。新型コロナウイルス感染症への不安を抱えながらのスタートとなりますが、このような時こそ、自分を強くする機会だと捉える考え方が必要です。ピンチをチャンスに変える前向きな発想ができれば、これからの時代をたくましく生き抜いていけると思うからです。

二つ目は、社会の中で生きていく力を身につけることです。

そのために大切なことは、「挨拶」です。自分から挨拶することは、皆さんがこれから生きていくうえで、大きな財産となる大切な習慣です。明るい挨拶ができるだけで、いろいろな人とのつながりが生まれ、世界が広がり、運命が変わると言ってもいいでしょう。

生徒のあいさつがすばらしいことは 原町三中の伝統です。新入生の皆さんにもぜひ受け継いでほしいと思います。

また、相手の心が分かること、望ましい人間関係を築くことなど、豊かな社会性を身につけることも社会の中で生きていくために大切なことです。自分の言葉や行動が、相手にどう受け止められるのか。相手の心にどう響くのかを考えながら、人との関わり方、協力のしかたなどを学び、望ましい人間関係を築いてほしいと思います。・・・

令和2年度 重点目標

目標に向かってチャレンジし、共に全力で取り組む生徒

今年度は「目標に向かってチャレンジし、共に全力で取り組む生徒」を重点目標とし、生徒一人一人が夢を実現できるように、自分の課題や目標を明らかにし、失敗を怖れずチャレンジするとともに、仲間と共に強い意志をもって粘り強く実践できるよう支援していきたく思います。また、地域資源を活用したり体験活動を取り入れたりしながら南相馬ふるさと教育を推進し、生徒に郷土に対する誇りや愛情を持たせたいと考えていきます。そのために、PDCAのサイクルを機能させ、保護者や地域の教育力を最大限に活用し、教職員が一致団結して教育活動を展開してまいります。